

支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

支所名	入 来 支 所	支所長名	蓮 香 一 郎
-----	---------	------	---------

支所の 経営資源	支所関連の 主な予算				
	構成人員		職員	嘱託	計
		計	37人	11人	48人

支所の使命 (組織の存在価値)	総合的な行政サービスを提供するため、より支所機能のレベルアップを図り、市民への満足度をアップする。 ・市民に親しまれる入来支所 ・明るくさわやかな雰囲気の入来支所 ・現地に出かけふれあいを深める入来支所 ・市民と職員が共に歩む入来支所	組織目標像	組織の目標 ・明るいあいさつ・迅速、丁寧な対応 ・行動力のある職員育成 ・市民団体、民間組織等との連携強化 ・庁内執務と現場踏査、確認との両立 ・窓口低カウンター等庁舎設備の改善 ・全職員による支所周辺ボランティア清掃の継続 ・自主防災組織の普及啓発
--------------------	---	-------	--

平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
入来温泉場区画整理事業の推進	年度内の事業計画の変更及び仮換地指定	・事業見直しに伴う事業計画の変更 ・事業計画変更に伴う換地計画の策定 ・繰越事業等の計画的な執行	・事業計画変更については、認可・公告済(9/9) ・換地計画の変更については、委託発注し策定中 ・繰越事業については、計画とおり執行済	・事業計画変更については、認可・公告済(9/9) ・仮換地指定通知書発送済(3/31) 4/15日より効力発生 ・繰越事業については、計画どおり執行済
農林業の振興	農地、水、環境事業の計画的進行 農業振興地域整備計画の進行管理 新たな担い手及び集落営農育成事業の活用	・地区及び農業者団体等への事業周知と綿密な連携 ・各会合における担い手農家及び集落営農に対する事業周知	定期的な進行管理と進捗状況の管理 年度末策定に向けて説明会の実施 担い手3戸の確保 ・自治会、地区コミ等へ集落営農、育成事業周知の実施	4地区で実施中である。指導強化を図っていく。説明会を実施して意見集約した。 担い手4戸の確保。集落営農の推進を図った

支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

<p>国・県公共事業の積極的導入</p>	<p>県及び他機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元要望と確認調整 ・県道山田・入来線の関係機関との連携による早期完成を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・火山砂防事業黒武者工区1号堰完了、2号堰測量用地買収 ・清色橋左岸橋台完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・火山砂防事業(平木場川)工事着手 ・清色橋右岸橋台工事着手
<p>入来型グリーンツーリズムの推進充実</p>	<p>地域資源を活用した交流人口の増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝建地区の散策と地元農産物の収穫を体験する市内旅行パックの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月開催予定の伝建地区の散策と地元野菜の無料配布を中心としたハイキング大会に向け実行委員会を実施した。(入来ファミリーハイキング) 	<p>市内パック旅行及びファミリーハイキング及び福岡、喜入等方面より見学に見えた</p>
<p>生涯学習の講座内容充実</p>	<p>公民館講座への若年層参加促進のための講座内容の充実</p> <p>著名人講師招聘を行うための5地区コミセンの連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講座内容充実による各種講座への若年層の積極的参加周知 ・コミセン主催による講座支援のため公民館主事及び社会教育指導員と地区コミセン関係者との連携強化 ・コミセン合同による講演会の開催 	<p>ヨガ教室においては若年層の参加もあり、講座終了後に引き続き自主講座へ移行。他の講座については開催時間帯の関係から若年層の参加は低調である。</p> <p>コミセン関係者との連携は順中に推移。コミセンの講演会については今年度は単独で実施予定。</p>	<p>各種講座は予定通り終了することができた。ヨガ教室は講座終了後も自主講座へ移行し継続中である。講座開催時間帯から若年層参加が少ないのが課題として残っている。</p> <p>コミセン関係者との連携は順調に推移した。</p>
<p>歴史・文化財事業の推進</p>	<p>清色城跡地の土地購入</p> <p>伝建地区補修事業実施</p> <p>歴史案内板などの整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁主管課との連携による事業促進 ・伝建地区及び史跡廻り観光客のための道順など案内板整備 	<p>土地については、年度末までに予定17筆の購入に向けて交渉中。</p> <p>補修事業について、19年度からの継続分は順調に進行中。20年度新規分2件のうち1件は着工済み、残り1件は近日中に契約予定。</p>	<p>土地購入については予定通り実施された。</p> <p>補修事業についても予定どおり実施された。</p>

支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

			色あせた小型案内板を職員で整備中。	ひょうたん型の小型案内板を教育課職員で製作中である。数が多いので数年は掛かる。
地域安全の確保と交通事故・火災発生の防止	<p>交通事故発生の減少</p> <p>火災発生の抑制</p> <p>自主防災組織率のアップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全運動メニューの内容充実と広報 ・火災予防運動の消防局との連携及び広報実施 ・自主防災組織の構築を防災安全課と連携 	<p>大きな人身事故はなかった。春・秋の交通安全週間も駐在所と連携して青パト巡回の実施等を行った。建物火災が1件・原野火災等が数件あったものの大きな被害は出ていない。新たに3自治会の自主防災組織が結成された。今後は地区コミュニティごとの広域的な組織での結成に向け、取り組みを行っている。</p>	<p>高齢者・児童向けの交通安全教室を年間通じて開催し、交通安全意識の向上を図れた。また駐在所と連携して青パト巡回を行い交通事故発生を未然に防ぐことができた。</p> <p>建物火災が1件・原野火災等が数件あったものの大きな被害は出なかった。</p> <p>地区コミュニティ協議会単位で2つの組織が発足し、また自治会単位でも結成があった。</p>
誘致企業等の受入体制支援	企業等の社員定住への情報提供	・企業等、支所、本庁担当課との綿密な連携	・市営住宅への問い合わせがあった。	具体的な動きは、なかった。
年度中間総括	<p>1 温泉場区画整理事業推進について 温泉場まちづくり推進協議会と連携がスムーズに進行している。</p> <p>2 事業推進、継続の要望等を実施している</p> <p>3 自主防災組織を1地区コミュニティ協議会で結成への取り組みが進行中である。</p> <p>4 今後とも交通事故・火災発生の抑制に向けよりいっそう各団体と連携を図りたい。</p>			
年度末総括	<p>1 温泉場土地区画整理事業については、事業計画変更の認可及び仮換地指定指定通知の発送など、初期の目標を達成した。</p> <p>2 事業推進、継続の要望等を行った</p> <p>3 自主防災組織結成に向けて、取り組みを行った結果、自治会及び2地区コミュニティ協議会で結成され、入来地域の自主防災組織率が、40.3%から89.7%に大幅にアップした。</p> <p>4 地区コミュニティ協議会で防犯組織を結成し、入来地域全域を青パトでの巡回が出来るようになった。交通事故・火災発生の抑制に向け、各団体と連携を図った。</p>			